

【2021年度】事業所向けサービス自己評価表（児童発達支援）

調査実施年月	2021年12月	事業所	ハッピーライフたいしょう
--------	----------	-----	--------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		コンセプトに沿って室内環境設定をしています。また児童がそれぞれの支援に沿った環境で過ごせるよう収納棚の配置や収納方法、使用方法を工夫しています。十分なスペースを確保できています。	収納棚の配置や収納方法、使用方法を児童の状況に合わせて室内の環境設定をしていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		年齢層、性別などバランスよく配置出来ているとアンケートで評価して頂いています。個性も得意な分野もそれぞれです。スタッフ個々が良いところを最大限に生かし支援に努めています。	引き続き適切なスタッフ配置に努めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	○		バリアフリーなど室内環境の設定には十分配慮しております。スタッフの配置場所、声掛け等に留意し安全保障に努めています。	引き続きバリアフリーなどの室内環境に留意し環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の清掃、消毒を行っております。また常時、換気扇の作動、窓による換気、ジアイーノによる空気清浄を行なっています。室温や湿度にも配慮しています。子どもたちの興味やニーズに合わせた玩具や道具を準備、配置し、提供の方法や遊び方、目的、目標を明確にしスタッフ全員で一貫した支援に努めています。	毎日の清掃、消毒は欠かさず行います。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日、支援についての振り返りや情報共有をしています。スタッフそれぞれが目的を持って支援にあたっています。また、毎月支援計画に沿って全スタッフで話し合う機会を設定しています。	支援の理解を広げ深めるために研修に参加しています。これからは更に支援の手立てがより適格かつ具体的なものとなるようスタッフ全体で考え実践していきます。
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート調査を実施し、集計をもとに事業所で話し合っています。ご意見、ご要望を頂いた際には、真摯に受け止め丁寧な対応を心掛けています。また改善点を明確にし伝えていきます。	ご意見、ご要望を頂いた際には、真摯に受け止め丁寧な対応を心掛けています。また改善点を明確にお伝えしていきます。
	7 支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		評価、改善点などをホームページで公開しています。	アンケート調査の結果をホームページにて公開しています
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は実施しておりません。	社内で事業所評価を行い、業務改善に努めています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修時間を確保し、十分に参加しています。また、研修の報告や事業所内での伝達研修も行っています。	積極的に研修に参加し専門性を高めるよう努めます。研修報告をスタッフ間でも共有しチームで実践していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		懇談会や日々の送迎時、連絡ツールを使用し、適切にニーズを拾っています。またそれをもとに事業所内で目標や課題について話し合い、分析し作成しています。	引き続き、アセスメントを適宜行っていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたアセスメントツールを適宜使用し、記録しています。また、それを支援に反映しています。	アセスメントツールを適宜使用し、変更等があればすぐに修正しより良い支援に努めていきます。
	12 個別支援計画には具体的な支援内容が設定され、また計画に沿った支援が行われているか	○		支援内容は分かりやすく具体的な表現で記載し、それに沿って支援を進めています。アンケートにより『家族支援の項目は具体性もあり実施されている』と評価して頂いています。	引き続き個別支援計画書の具体的な計画内容をもとにチームで支援にあたっていきます。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個々それぞれの案を会議時に提示するようになっています。また日々のミーティングでも良いものがあれば共有しています。	偏ったプログラムにならないよう十分に留意します。また、プログラムをチームで具体的に話し合いより良いものとなるように努めます。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		個々に案を持ち寄り偏ったプログラムにならないよう工夫しています。主担当決めではパターン化しないよう配慮しています。	引き続き、児童の興味・関心などに合わせ、様々な遊具を準備配置していきま。環境設定、活動内容にメリハリをつけスタッフ間で十分に話し合い児童におろしていきます。
	15 平日、休日、長期休暇に際して、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		児童が十分に楽しめるよう様々な企画を考えています。あそびの中から興味が広がり、達成感から、自信、意欲が育つよう意識しています。課題は個々それぞれに設定しています。また繋がる支援となるように努めています。	平日と休日・長期休暇の活動内容の目標設定を明確にさせた上で、児童それぞれの課題に応じた支援に努めていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるなど個別支援計画を作成しているか	○		児童も一人の人格を持った人であることを基本に個に応じた支援の内容を考えています。静と動の活動、個と集団の活動など幅広い視野で計画を作成するようにしています。	児童の様子や状況をもとに個別活動、集団活動の目標や、発達段階に合わせた目標を設定し、職員全員で幅の広い支援に努めていきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝、昼のミーティングにて話し合っています。イレギュラーなことも多く発生しますが、落ち着いて安心、安全をベースに安定した支援となるよう努めています。	引き続きミーティングで当日の内容を確認し、不備のないよう努めていきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		伝達、申し送りを必ず行っています。また、記録もこまめに行っています。当日の朝に再度、情報共有、確認をし周知しています。	日々の積み重ねを大切にしています。欠かさず行うことでより深い支援となるよう努めます。
関係機関や保護者との連携	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録をこまめにするように徹底しています。また、その内容をスタッフ全員が確認するようにしています。	記録をもとに事業所内で十分に話し合っています。実際の支援にしっかり反映していけるよう努めていきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に行っています。また、必要時には適宜行うようにしています。	月に1~2回モニタリング会議を行い、個々の課題や目標設定、個別支援計画の見直し・検討をしてより良い支援に努めていきます。
	21 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		コンセプトに沿ってバランスよく組み込むように努めています。	ガイドラインを周知し、個々のニーズを整理し活動に組み込むように努めていきます。
	22 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者が参加しています。また、必要に応じて管理者も参加しています。事前に相談支援員より目的等を確認し事業所内でミーティングを行っています。また、当日に向け、書類等の資料をまとめ参加するようにしています。	担当者が持ち帰った情報をスタッフ全員で共有しています。スタッフ全員が共通の理解を持って支援に当たるよう努めていきます。
	23 【児発】 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて、相談支援員、他機関と連携しています。ケース会議も行っています。情報交換や共有することでより良い支援に努めています。	相談支援員、他機関と連携し、こまめに情報交換や共有することでより良い支援に努めていきます。
24 【児発】 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		相談支援員より、依頼があれば行っています。また、それまでの記録や情報は厳重に取り扱っています。	相談支援員に相談し、依頼があれば行っています。また、それまでの記録や情報は厳重に取り扱っています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25				
	26				
	27				
	28	○		研修に参加しています。また、分かりにくかった部分は質問をし助言を頂いています。	センター主催の研修など積極的に参加するよう努めています。
	29				
	30	○		園庭開放や地域の行事に参加させていただいています。現在は難しい環境が続き縮小していますが公園などで一般の児童と関わる姿が見られています。十分に配慮したうえで機会を保障しています。	社会情勢に合わせ、近年は参加を縮小しています。落ち着いたら再開いたします。
	31	○			機会があれば積極的に参加していきます。
32	○		連絡帳や、送迎時に活動の内容や児童の様子を伝えています。発達状況や、課題、相談についても随時お伝えしています。定期的に懇談会も行っています。	連絡帳や送迎時に活動内容や様子をお伝えしていきます。具体的な支援の内容、経過、目標についても、スタッフ全員がより詳しくお伝えできるよう努めています。	
33	○		保護者さまの悩みや大変さに寄り添い理解に努めています。また客観的に捉え整理したり、専門的な知識をもとに保護者さまと一緒にという思いで支援にあたっています。	スタッフ全員で真摯に取り組んでいきます。	
保護者への説明責任等	34	○		個別に説明をさせて頂いています。送迎時、連絡帳、懇談会などで、専門用語は使用せず分かりやすくご説明するよう心掛けています。	保護者さまより『具体的にどのように支援しているのか分かりにくい』というお声を頂いています。目的や手立てを明確に、更に丁寧に伝えるように努めます。
	35	○		保護者さまより『すぐに対応して頂いて助かります』というお声を頂いています。迅速に丁寧な対応を心掛けています。他機関とも協力し引き続き支援させて頂きます。	外部研修や事業所内研修を引き続き行いながら、専門知識や視野の向上に努めます。
	36		○	お仕事をされている方が多くなかなか実現しにくいのが現状です。さらにコロナ感染症の影響で難しくなっています。今後の課題でもあります。	保護者さまより要望があれば機会を作りたいと思います。様々な状況を考慮し安全を確保したうえで行います。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○			子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか
	38	○			定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
	39	○			個人情報に十分注意しているか
	40	○			障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか
	41		○		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
非常時等の対応	42	○			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
	43	○			非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
	44	○			虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
	45	○			事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか
	46	○			食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか
	47	○			ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか
	48	○			どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか